

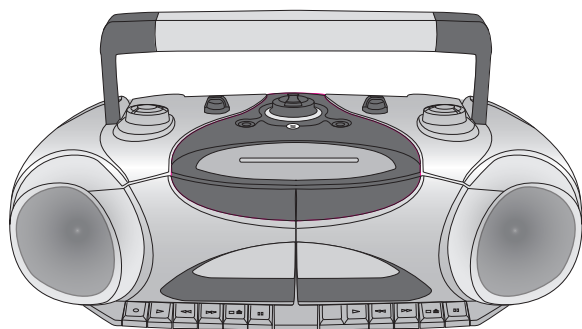
## ラジオダブルカセットレコーダー

品番 **AY-W11**

## 取扱説明書

このたびはお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

- この商品を安全に正しくお使いいただくために、ご使用前に「取扱説明書」を最後までよくお読みください。
- お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保存してください。



## もくじ

- ◆安全上のご注意 .....2
- ◆ご使用にあたってのお願い .....4
- ◆各部の名称 .....5
- ◆電源の準備 .....7
- ◆ラジオを聴く .....9
- ◆カセットテープを再生する .....11
- ◆カセットテープをダビングする .....13
- ◆ラジオ放送を録音する .....15
- ◆音声をカセットテープに録音する .....17
- ◆市販のマイクを活用する .....18
- ◆ヘッドホンで聴く .....20
- ◆お手入れとお知らせ .....21
- ◆修理を依頼される前に .....22
- ◆仕様 .....23
- ◆保証とアフターサービス .....24




家庭用

この製品を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源、電圧が異なりますので使用できません。  
(This unit can not be used in foreign countries as designed for Japan only.)



# 安全上のご注意

ご使用前に必ずお読みください。また、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保存してください。

\*ここに示した注意事項は、本製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を『危険』と『警告』、『注意』に区分しています。安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

 <b>危険</b>	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
 <b>警告</b>	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

## 図記号の意味と例

	<p>⊘記号は、「してはいけないこと」を意味しています。 図の中に具体的な禁止内容(左図は分解禁止)が描かれています。</p>
	<p>●記号は、「しなければならないこと」を意味しています。 図の中に具体的な指示内容(左図は差し込みプラグをコンセントから抜いてください)が描かれています。</p>

## 電池について安全上のご注意

電池の液漏れ・破裂・発火・発熱などによる事故を防ぐための重要な内容ですので、必ず守ってください。

### 危険

- 火中に投じない
  - 分解・加熱しない
  - 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる
  - 充電しない
  - 電池をショートさせない
  - 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない
  - 種類の異なる電池を混ぜて使用しない
  - 被覆のはがれた電池は使用しない
  - ネックレスなどの金属物といっしょにしない
- 取り扱いを誤ると電池の液漏れにより、火災や周囲汚損の原因になります。万一液漏れが起こった場合はお買い上げの販売店または当社サービスセンターにご相談ください。

### 危険

- 万一電池が液漏れしたときは、液漏れした電池に触れない  
液が目に入ったときは目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で洗い、直ちに医師の治療を受けてください。

### 注意

- 指定された種類以外の電池は使用しない
- 長期間使用しないときは電池を取り出す
- 火のそばや直射日光のあたるところ炎天下の車中などに放置しない

### 警告

 <b>禁止</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本体のすきまにピンや針金などの異物を入れない 感電やけが、火災の原因になります。</li> <li>● 本体に乗ったり傾けたりしない けがの原因になります。</li> <li>● 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしない 電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。</li> </ul>	 <b>使用禁止</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 幼児の手の届く範囲で使用しない 感電・けがの原因になります。</li> <li>● 電源コードや差し込みプラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない 感電・ショート・発火の原因になります。</li> <li>● 交流 100V 以外では使用しない 火災・感電の原因になります。</li> <li>● 雷が鳴りだしたら屋外では使用しない 落雷の恐れがあります。本体からすぐに離れてください。</li> </ul>	 <b>プラグを抜く</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● お手入れの際は必ず差し込みプラグをコンセントから抜く 感電・けがの原因になります。</li> <li>● 異常時(こげくさいなど)は、運転を停止して差し込みプラグを抜く 異常のまま運転を続けると火災や感電の原因になります。運転を停止してお買い上げの販売店または当社サービスセンターにご相談ください。(→24 ページ参照)</li> </ul>
	 <b>水ぬれ禁止</b>				<ul style="list-style-type: none"> <li>● 水につけたり、水をかけたりしない ショート・感電・火災の原因になります。</li> </ul>
 <b>ぬれ手禁止</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ぬれた手で、差し込みプラグを抜き差ししない 感電の原因になります。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 雷が鳴りだしたらアンテナや電源プラグに触れない 感電の原因になります。</li> </ul>		

# 安全上のご注意

## ⚠ 注意

- **不安定な場所には置かない**  
転倒してけがの原因になります。
- **ベンジンやシンナーでふいたり、殺虫剤をかけたりしない**  
ひび割れによるけが・ショートによる感電・引火による火災の原因になります。
- **電源コードを接続した状態で移動しない**  
コードが傷つき火災・感電の原因になります。コードに引っかかるなどしてけがの原因になります。
- **FM アンテナを伸ばしたまま持ち運ばない**  
アンテナに引っかかるなどして周囲の破損・けがの原因になります。
- **異常に温度の高くなる場所に置かない**  
本体が劣化し火災の原因になります。本体の変色・変形の原因になります。  
夏の閉めきった自動車内や直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは本体が変形し火災の原因になります。



禁止



プラグを抜く

- **差し込みプラグを抜くときは電源コードを持たずに、必ず先端の差し込みプラグを持って引き抜く**  
コードが劣化してショートや発火の原因になります。
- **使用時以外は、差し込みプラグをコンセントから抜く**  
けがややけど・絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。  
長期間ご使用にならないときは必ず差し込みプラグをコンセントから抜く  
火災の原因になります。



使用禁止

- **油成分が浮遊している場所では使用しない**  
ひび割れによるけがの原因になります。
- **浴室など高温・多湿・水のかかる場所では使用しない**  
漏電して感電・火災の原因になります。



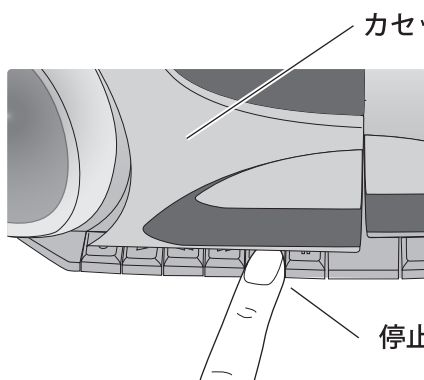
プラグの点検

- **ときどきは電源コンセントや差し込みプラグの点検を**  
コンセントにほこりがたまっていると湿気が加わることで電流が流れ、火災の原因になることがあります。差し込みプラグが外れかけていたり、破損したりしている場合は特に危険です。
- ◆ **思わぬ事故を防ぐために・・・**
- **コンセントの周りにほこりをためないようにときどき掃除をする。**
- **差し込みプラグがしっかりと差し込まれているか確かめる。**
- **コンセントや差し込みプラグに異常がないか確かめる。**



音量に注意

- **電源を入れる前に音量を最小にする**
- **大音量で長時間続けて聴かない**  
大きな音で耳を痛める原因になります。
- **ヘッドホン使用時は音量を上げすぎない**  
長時間大きな音量で聴き続けると聴力に悪影響を与えます。



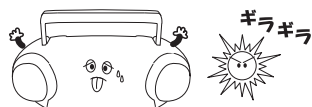
カセットふたを開くときは、**停止 / 取出しボタン**を押してすぐに指を離してください。  
**停止 / 取出しボタン**を押せばなしにすると、開いたカセットふたで指が挟まれる原因になります。

# ご使用にあたってのお願い

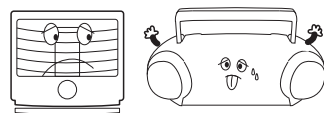
- 水平で安定した場所でご使用ください。
- 本機のスピーカーは防磁タイプではありません。磁気の影響を受けやすいテレビなどから遠ざけてご使用ください。誤動作・故障の原因になります。
- 本機のスピーカーは強力な磁力を使用しています。次のようなものは本機のそばに置かないでください。
  - ・クレジットカードなどの磁気カード
  - ・カセットテープやビデオテープなどの磁気テープ
  - ・磁気の影響をうける時計など

## 次の場所では使用したり設置しない

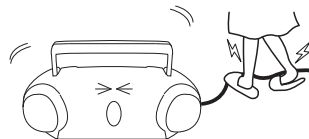
直射日光が当たる場所・車の中  
変形・変色することがあります。



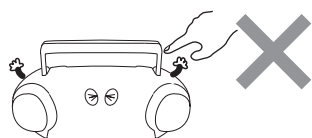
暖房器具の上や近く  
変色や変形、故障の原因になります。



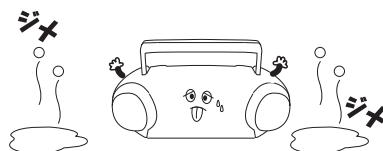
人がよく通るところ  
ぶつかったり、電源コードに引っかかると、本体が倒れ、故障の原因になります。



お子様の手の届くところ  
本体のすき間に手や指をはさんで、けがの原因になります。



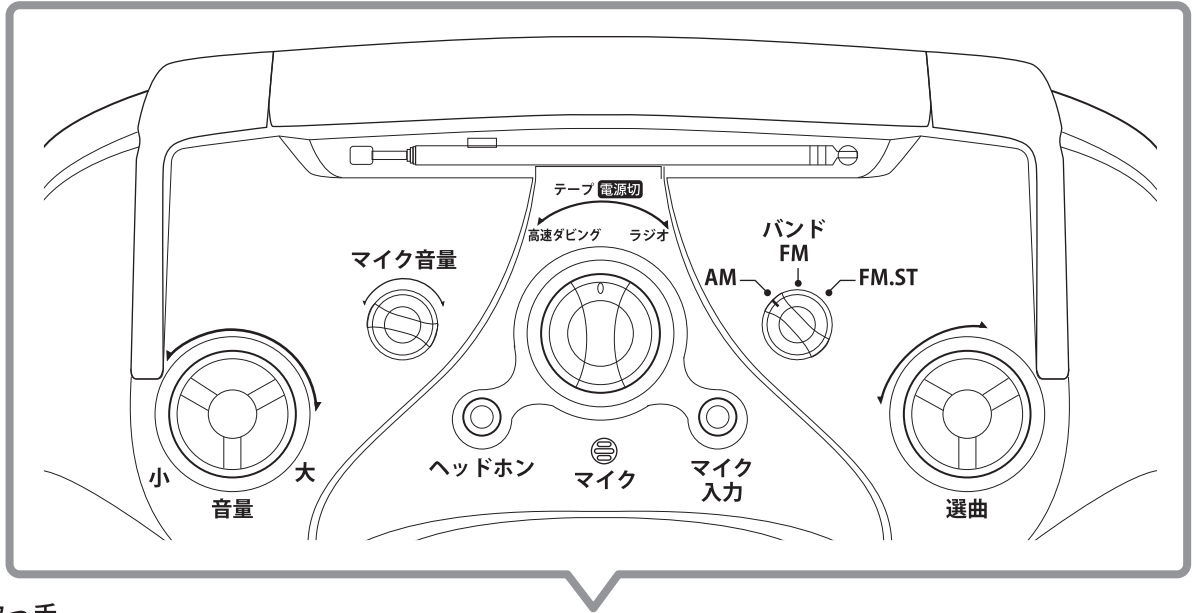
お風呂場など多湿で水がかかる恐れがあるところ  
感電・故障・火災の原因になります。



磁気が多いところ  
録音済みのカセットテープの音声が消えたり誤動作の原因になります。

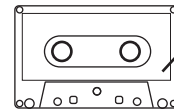
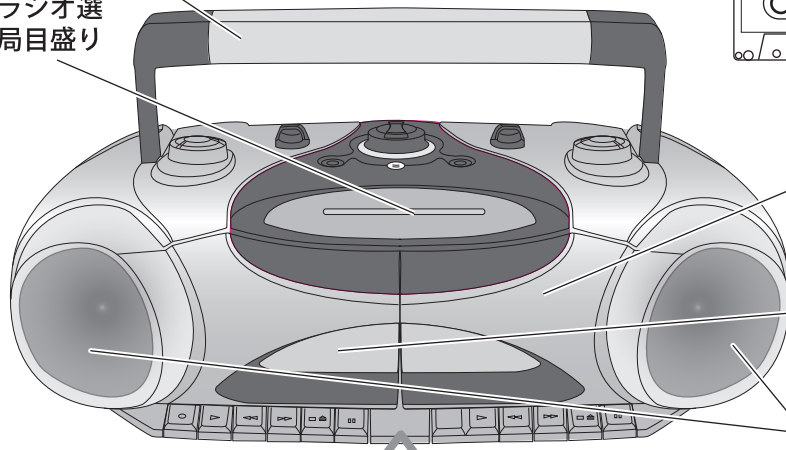


# 各部の名称



取っ手

ラジオ選局目盛り



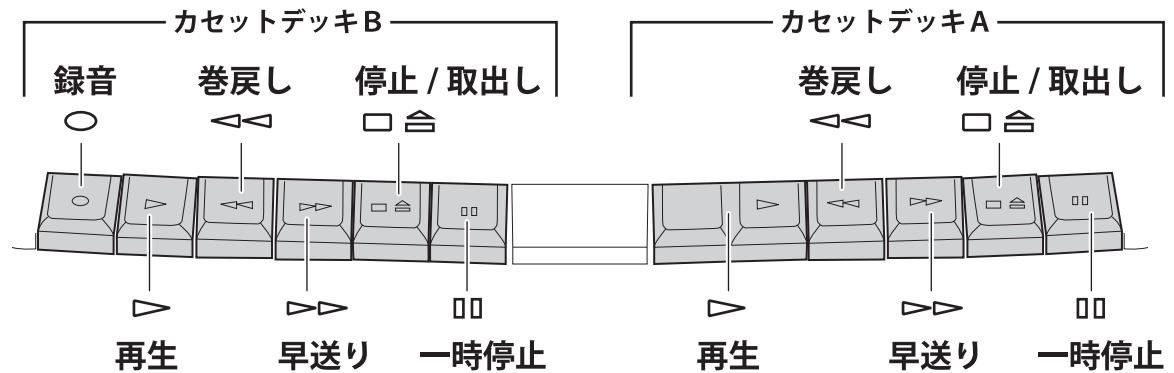
再生/録音する面  
カセットテープの再生/録音する面を前にして入れます。

カセットデッキA (再生のみ)

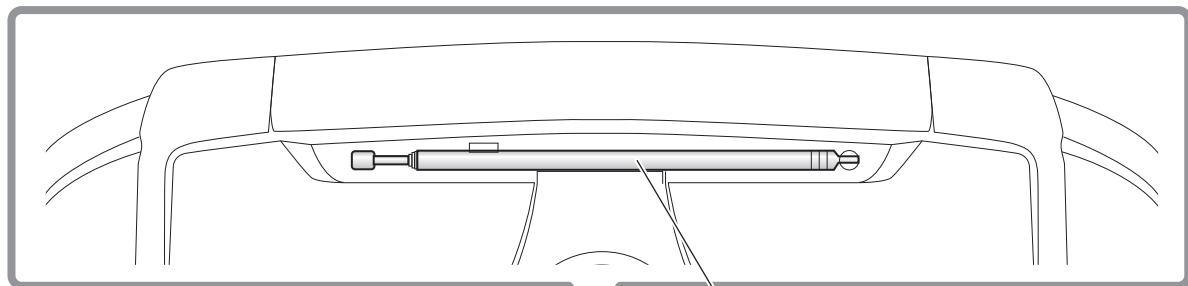
カセットデッキB (録音/再生)

スピーカー

## 【ボタンに表示されている記号と意味】

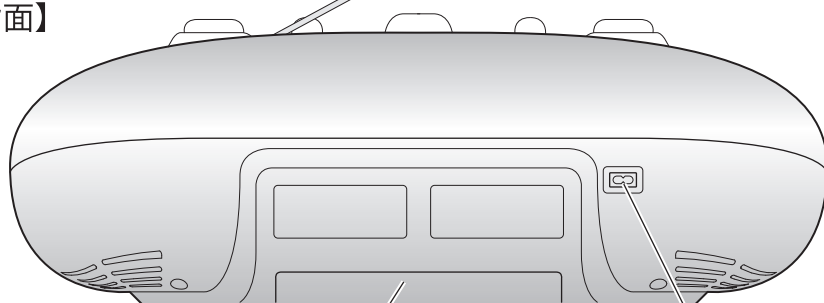


# 各部の名称



FM アンテナ

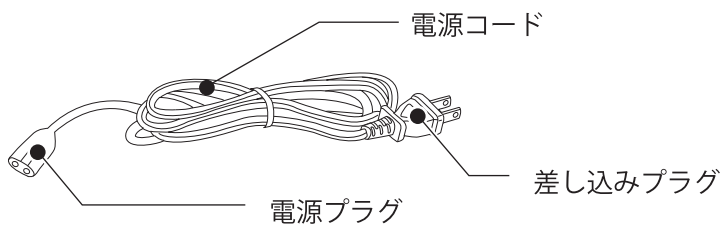
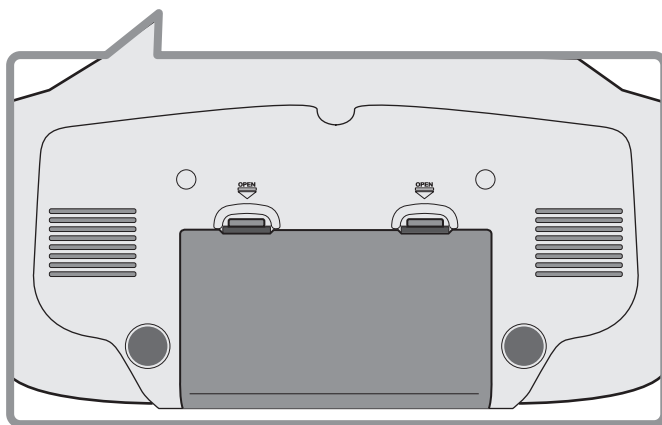
【背面】



AC-IN (電源コード差し込み口)

電池ふた

【底面】



電源コード

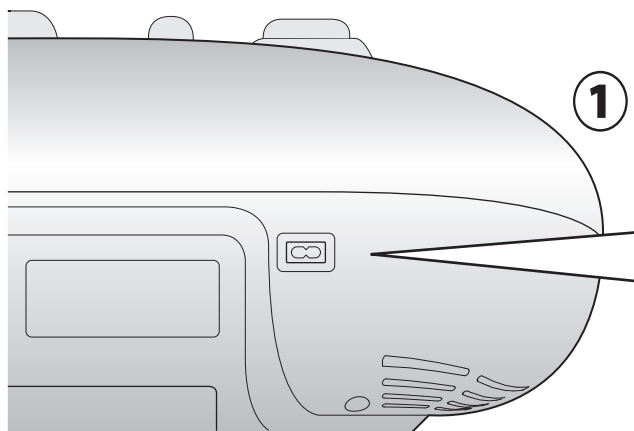
差し込みプラグ

電源プラグ

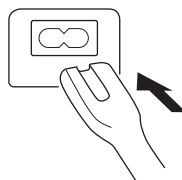
# 電源の準備

家庭用コンセントまたは別売の単1形乾電池(6個)のいずれかを選んでご使用になれます。

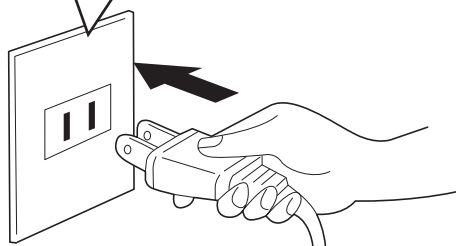
## ■ 家庭用コンセントで使用する場合



付属の電源コードの電源プラグを本体背面の差し込み口(AC-IN)に確実に差し込む。



② 差し込みプラグを家庭用コンセント(交流100V)に確実に差し込む。



# 電源の準備

## ■ 単 1 形乾電池(別売)を使用する場合

新品の単 1 形乾電池(アルカリまたはマンガン) 6 個をご使用ください。(充電式電池はご使用になれません)

乾電池を使用するときは電源コードを本体に接続しないでください。

差し込みプラグをコンセントに差し込んでいない状態で、本体に電源コードが差し込まれていると、製品は作動しません。電源コードを本体から抜くと乾電池の電源に切り換わり、作動できるようになります。

①

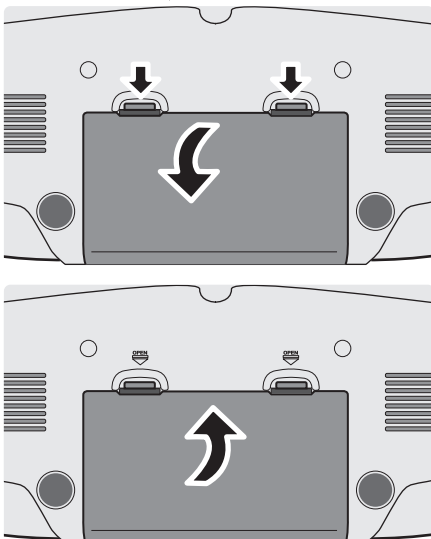
新品の単1形乾電池を用意する。



異なる種類の電池や新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。

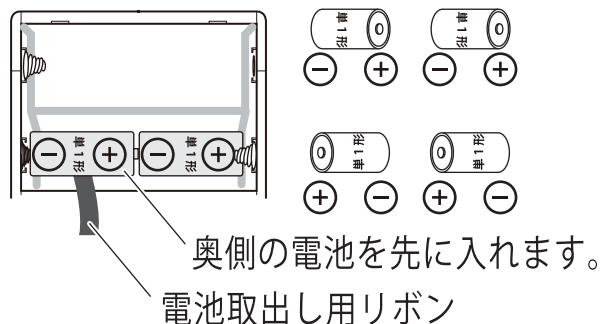
②

本体底面の電池ふたのつまめ(2箇所)を押して取り外す。



③

単 1 形乾電池を極性に注意して入れる。  
(マイナス側から入れます)

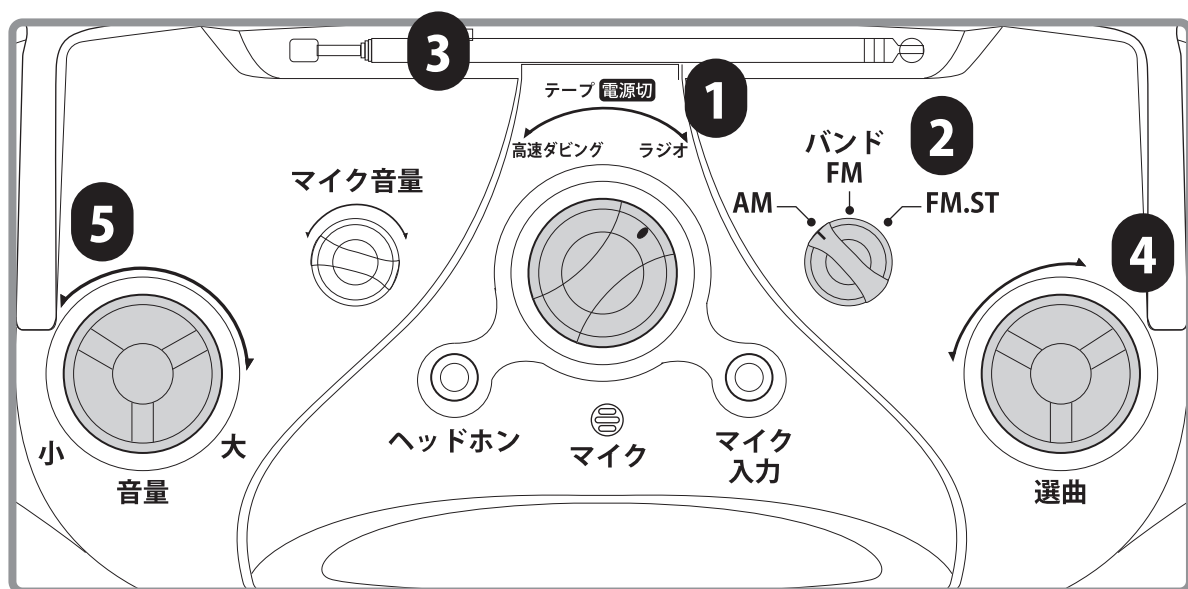


④

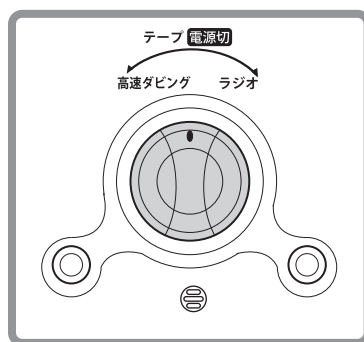
電池ふたを取り付ける。  
※電池取出し用リボンを中にしまってください。



# ラジオを聴く



- 1 切替スイッチをラジオに合わせる。
- 2 バンド切替スイッチを「FM」／「FM ST」または「AM」に合わせる。
- 3 FM 放送を受信する場合はアンテナを伸ばす。(10 ページをご参照ください)
- 4 選局を回して放送局の周波数に合わせる。
- 5 音量調節を回して音量を調節する。
- 6 電源を切るときは切替スイッチをテープ電源切に合わせて電源を切る。

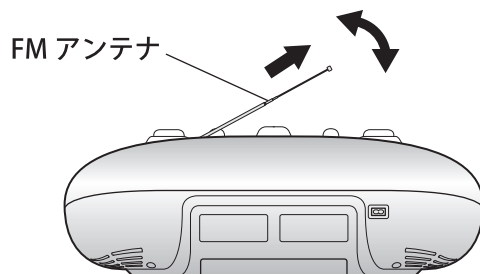


# ラジオを聴く

## ◆ 受信状態の調整方法

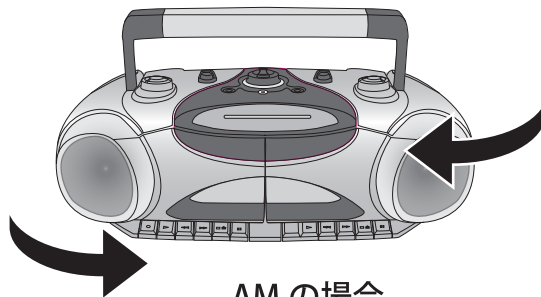
FMラジオを受信するときはアンテナを伸ばし、アンテナの角度や方向を変えて受信状態を調整します。

FMステレオ放送の雑音が多いときは、AM/FM切替スイッチをFM.STではなく、FMに合わせてください。ステレオではなくなりますが、受信しやすくなります。



FM の場合

AMラジオを受信するときは本体の向きを変えて受信状態を調整します。



AM の場合

## ◆ ラジオ受信について

乗り物や建物の中では電波が弱まります。このため放送が聞こえにくくなる場合があります。このような場合には窓際などへ移動してご使用ください。

テレビの近くでAM放送を受信すると、AM放送に雑音がはいる場合があります。また、室内アンテナを使用しているテレビの近くでFM放送を受信すると、テレビの画面が乱れる場合があります。このようなときは、本機をテレビから離してご使用ください。

# カセットテープを再生する

## カセットテープの準備

### ◆ 正しく再生・録音できるカセットテープ

ノーマルポジション(TYPE1)のカセットテープを使用してください。ハイポジション(TYPE2)やメタルポジション(TYPE3)のカセットテープでは正常に再生や録音できません。

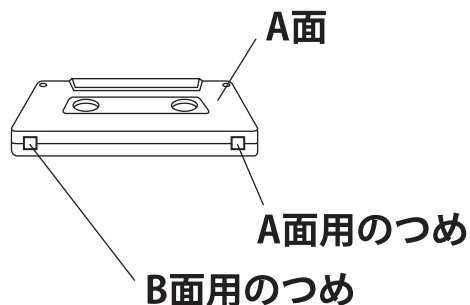
### ◆ 90分を超えるカセットテープについて

90分を超えるテープは薄いため再生・停止・早送り・巻戻しなどの操作を頻繁に行うとテープが回転部に巻き込まれる場合がありますのでご注意ください。

### ◆ カセットテープのつめ(誤消去防止)について

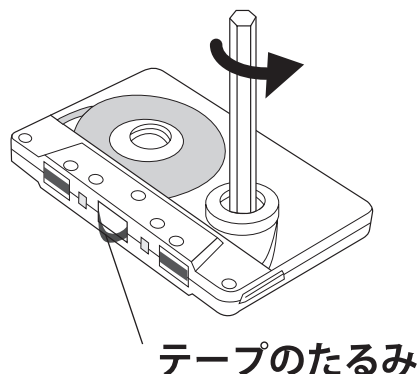
録音された音声などを誤って消さないようにカセットテープにはつめ(誤消去防止)があります。大切な録音を誤って消さないように録音後につめを折り取ってください。

つめを折り取ったカセットテープに再度録音する場合は、折り取った部分にセロハンテープなどを貼って穴をふさいでください。



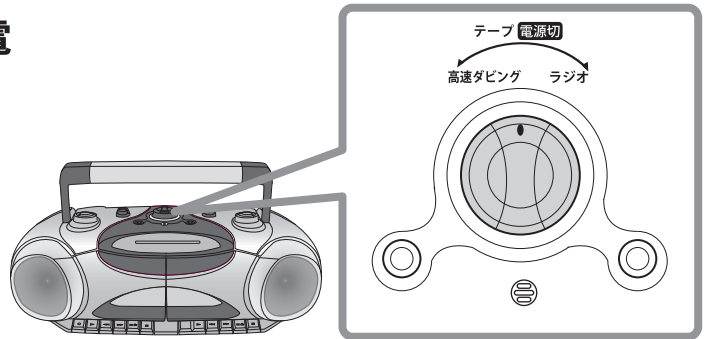
### ◆ テープのたるみについて

テープのたるみは、鉛筆などを使ってあらかじめ巻き取ってからご使用ください。テープが回転部に巻き込まれる場合があります。

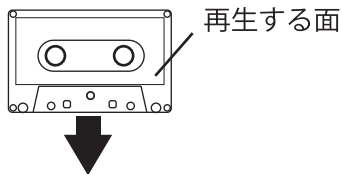


# カセットテープを再生する

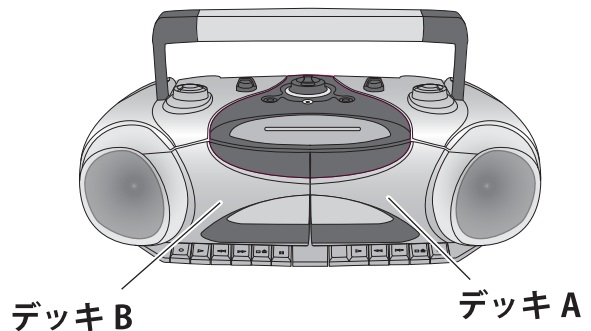
- 1 切替スイッチをテープ電源切にあわせる。



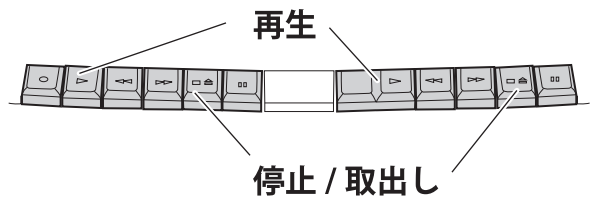
- 2 デッキAまたはデッキBの停止 / 取出しボタンを押してカセットふたを開き、カセットテープを入れる



カセットテープの再生する面を前にして入れます。



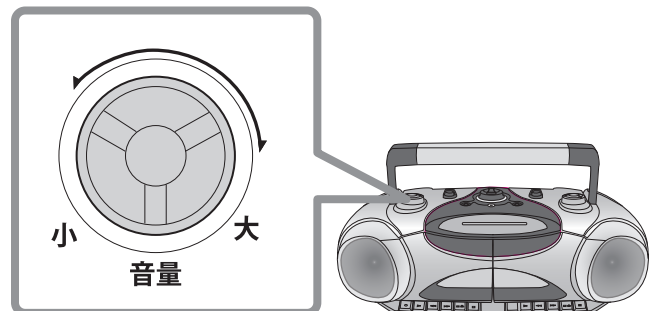
- 3 カセットふたを閉じる。



- 4 再生ボタンを押して再生する。

※音量は最小にしておいてください。  
※両方のデッキを再生した場合は、デッキAが優先されます。

- 5 音量調節を回して音量を調節する。



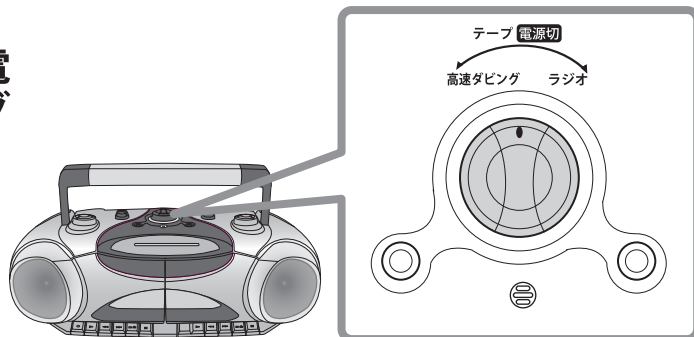
- 6 再生を停止するときには**停止 / 取出し**ボタンを押す。  
(電源も「切」になります)

※カセットテープを取り出すときはもう一度、**停止 / 取出し**ボタンを押します。  
※カセットテープの裏面を再生するとき、一旦カセットテープを取りだして裏面を前にして入れなおしてください。(オートリバースではありません)

# カセットテープをダビングする

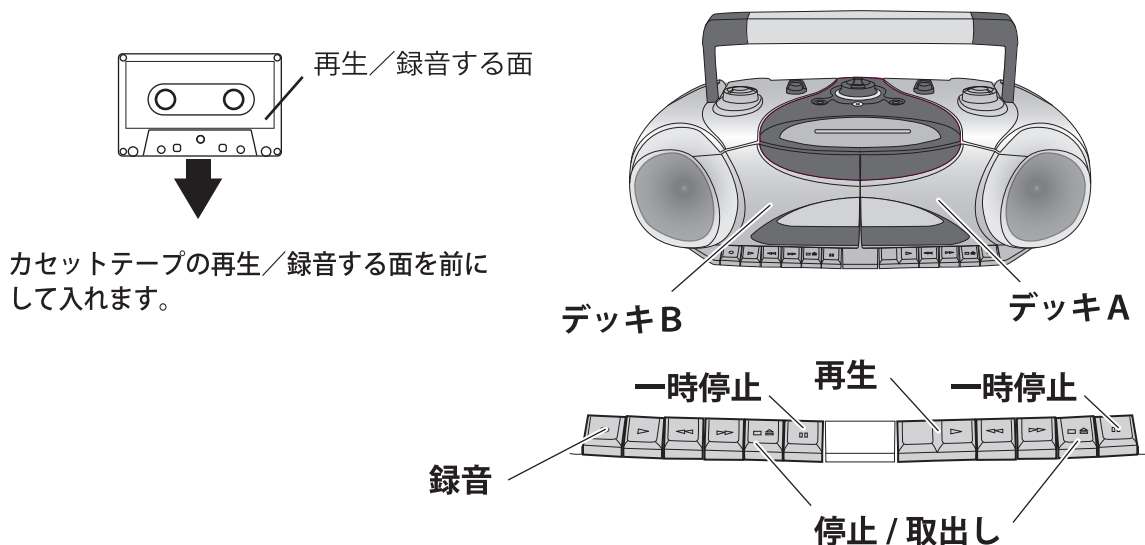
カセットテープからカセットテープへ録音します。

- 1 切替スイッチをテープ電源切または高速ダビングにあわせる。



高速ダビングにあわせると通常のダビングの約2倍の速度でダビングします。

- 2 デッキAに再生するカセットテープを入れ、デッキBに録音するカセットテープを入れる。



カセットテープの再生/録音する面を前にして入れます。

- 4 デッキBの**一時停止**ボタンを押してから**録音**ボタンを押す。

- 5 デッキAの**再生**ボタンを押す。

デッキBの一時停止が解除されて、ダビングが始まります。

- 6 ダビングが終了したらデッキBの**停止**ボタンを押してからデッキAの**停止**ボタンを押す。

※カセットテープを取り出すときはもう一度、**停止/取出し**ボタンを押します。

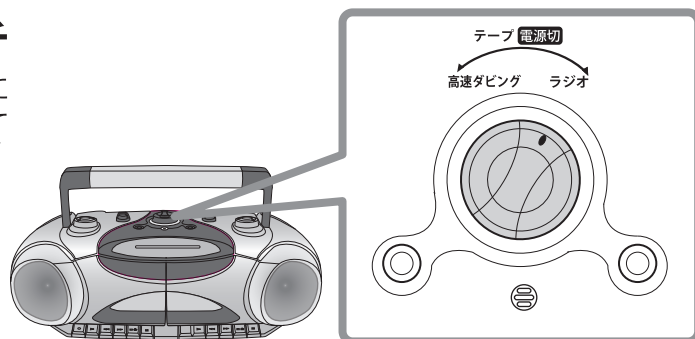
# カセットテープをダビングする

- 乾電池の消耗によるトラブルを防ぐため、録音するときは乾電池ではなく、家庭用コンセントでご使用になることをお勧めします。
- 録音しているカセットのテープが終わりになると自動的に録音が止まります。引き続き反対の面に録音するときはカセットを取り出して反対の面が前面になるように入れ替えてください。
- 音量調節を変えても録音される音量は変わりません。
- 録音中に本体をテレビやビデオデッキなどに近づけると、これらの機器から出る電波の影響で雑音が入ることがあります。

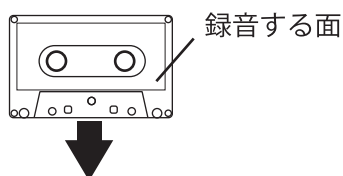
# ラジオ放送を録音する

## ■ 準備

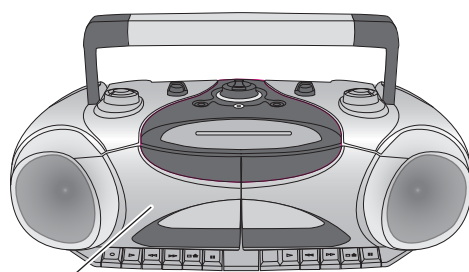
まず初めに**切替スイッチ**が**ラジオ**にして、録音したいラジオ放送を受信してください(9ページ参照)



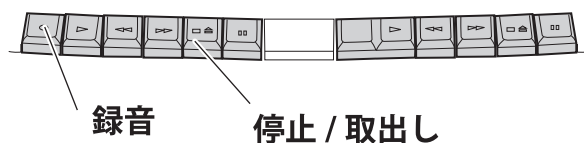
- 1 **デッキBの停止 / 取出し**ボタンを押して**カセットふた**を開き、カセットテープを入れる



カセットテープの録音する面を前にして入れます。  
カセットテープの最初の部分は録音できません。あらかじめ巻き取ってください。



デッキ B



- 2 **カセットふた**を閉じる。

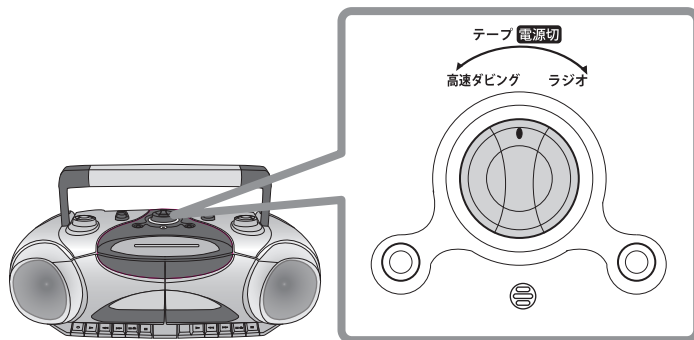
## ■ 録音

- 3 **デッキBの録音**ボタンを押す。(同時に再生ボタンも押されます)

# ラジオ放送を録音する

4 録音を停止するときは**デッキBの停止**ボタンを押す。

5 切替スイッチを**テープ電源切**に合わせて電源を切る。



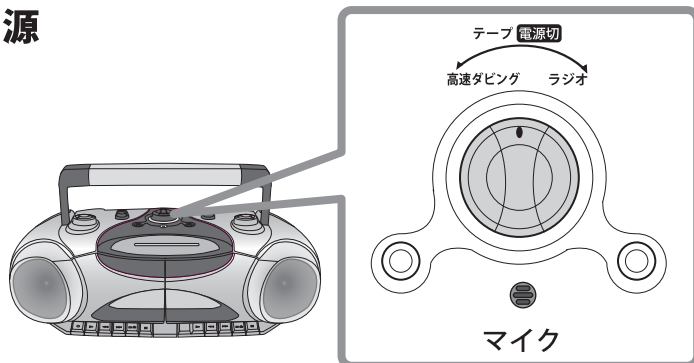
- 大切な録音をする場合は、事前にためし録音してください。(万一、本機の不具合により録音されなかった場合でも録音内容の補償はできません)
- 乾電池の消耗によるトラブルを防ぐため、録音するときは乾電池ではなく、家庭用コンセントでご使用になることをお勧めします。
- 録音しているカセットのテープが終わりになると自動的に録音が止まります。引き続き反対の面に録音するときはカセットを取り出して反対の面が前面になるように入れ替えてください。
- 音量調節を変えても録音される音量は変わりません。
- 録音中に本体をテレビやビデオデッキなどに近づけると、これらの機器から出る電波の影響で雑音が入ることがあります。



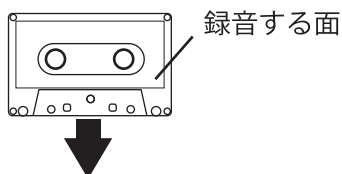
# 音声をカセットテープに録音する

## 内蔵マイクを使用する

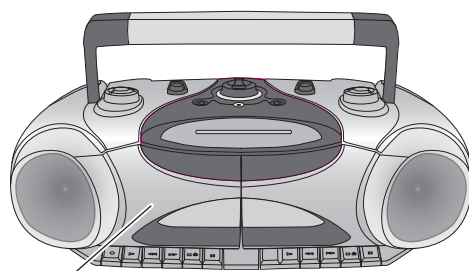
- 1 切替スイッチをテープ電源切にあわせる。



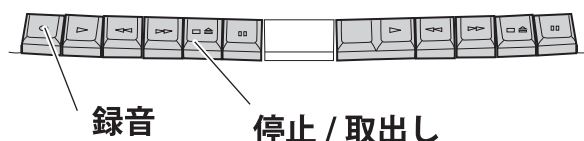
- 2 デッキ (B) の停止 / 取出しボタンを押してカセットふたを開き、カセットテープを入れる



カセットテープの録音する面を前にして入れます。カセットテープの最初の部分は録音できません。あらかじめ巻き取ってください。



デッキ B



- 3 カセットふたを閉じる。
- 4 カセットの録音ボタンを押す。(同時に再生ボタンも押され、内蔵マイクからの音声を録音します)
- 5 録音を停止するときは停止 / 取出しボタンを押す。(電源も「切」になります)

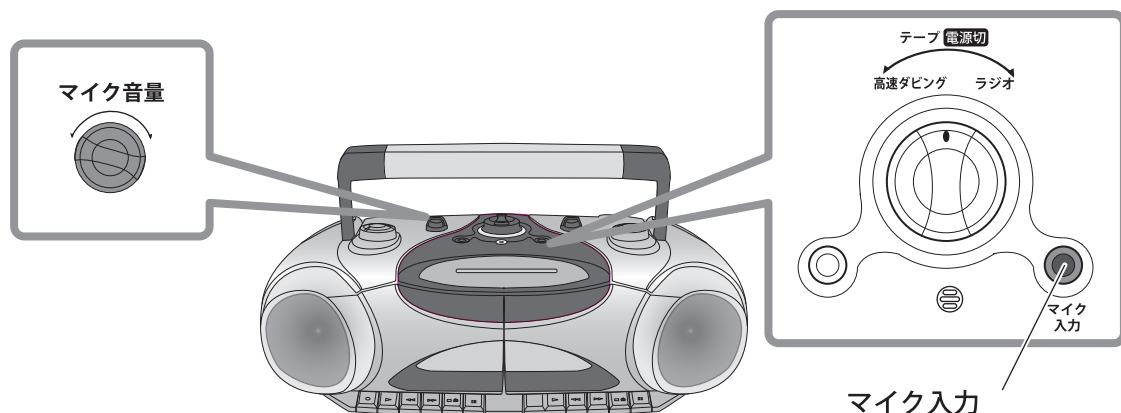
- 乾電池の消耗によるトラブルを防ぐため、録音するときは乾電池ではなく、家庭用コンセントでご使用になることをお勧めします。
- 録音しているカセットのテープが終わりになると自動的に録音が止まります。引き続き反対の面に録音するときはカセットを取り出して反対の面が前面になるように入れ替えてください。
- 音量調節を変えても録音される音量は変わりません。
- 録音中に本体をテレビやビデオデッキなどに近づけると、これらの機器から出る電波の影響で雑音が入ることがあります。

# 市販のマイクを活用する

## ■ 準備

市販のミニプラグマイク（φ3.5mm 端子のもの）をマイク入力に接続する。

φ6.3mm 端子のマイクの場合は、φ3.5mm への変換アダプタをご使用ください。



マイクの音量はマイク音量つまみで調節します。  
(マイク音量が最小では録音できません)

## ■ マイクの音声をカセットテープに録音する

- 1 切替スイッチを**テープ電源切**にあわせる。
- 2 デッキBの**停止 / 取出し**ボタンを押して**カセットふた**を開き、カセットテープを入れる。
- 3 カセットの**録音**ボタンを押す。(同時に再生ボタンも押されます)
- 4 録音を停止するときは**停止 / 取出し**ボタンを押す。(電源も「切」になります)

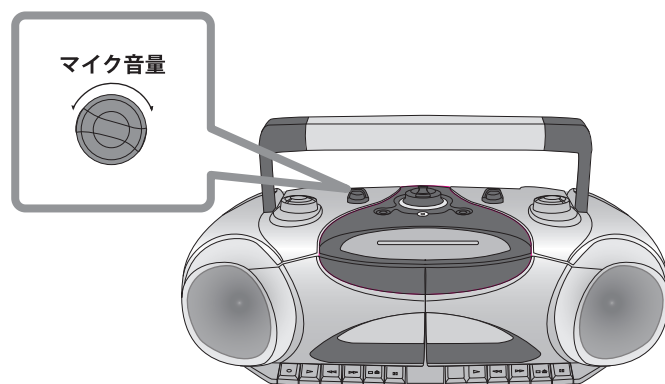
# 市販のマイクを活用する

## ■ カセットテープ(カラオケなど)を再生しながらマイクを使用する

- 1 切替スイッチを**テープ電源切**にあわせる。
- 2 **デッキA**のまたは**デッキB**でカセットテープを再生する。

- 3 マイクの音量を調節する。  
マイクの音量はマイク音量つまみで調節します。

※スピーカーから再生中のカセットテープの音と、マイクからの音声が聞こえます。



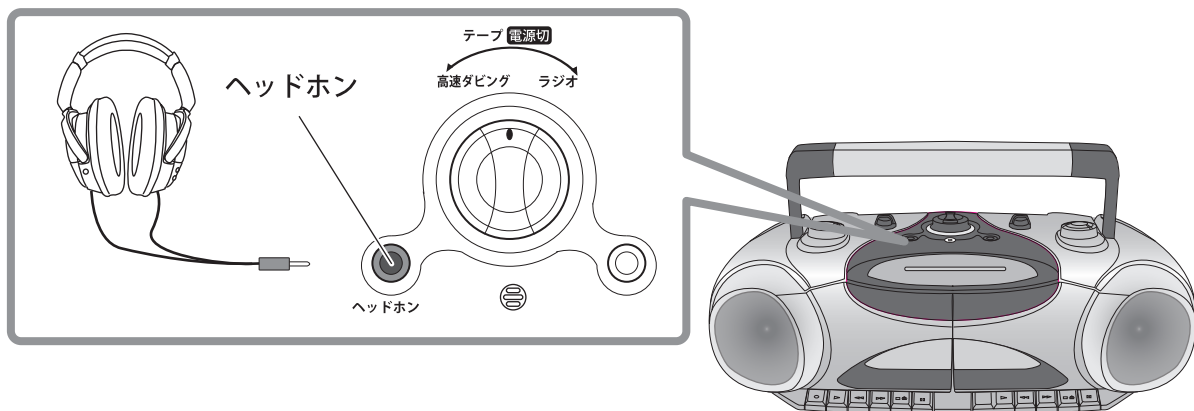
## ■ デッキAでカラオケを再生しながらマイクを使用し、デッキBで録音する

- 1 切替スイッチを**テープ電源切**にあわせる。
- 2 **デッキA**に再生するカセットテープを入れ、**デッキB**に録音するカセットテープを入れる。
- 3 マイクの音量を調節する。
- 4 デッキBの**一時停止**ボタンを押してから**録音**ボタンを押す。
- 5 デッキAの**再生**ボタンを押す。  
デッキBの一時停止が解除されて、録音が始まります。
- 6 録音が終了したらデッキBの**停止**ボタンを押してからデッキAの**停止**ボタンを押す。  
※カセットテープを取り出すときはもう一度、**停止 / 取出し**ボタンを押します。

# ヘッドホンで聴く

## 市販のヘッドホンを使用する

市販のヘッドホンヘッドホン出力に接続してお楽しみいただけます。(ヘッドホンヘッドホンを接続するとスピーカーから音声は出ません)



ヘッドホンは、接続プラグがステレオミニ (φ3.5mm) のものをご用意ください。φ6.3mm 端子のヘッドホンの場合は、φ3.5mm への変換アダプタをご使用ください。

- 電源を入れる前に音量を最小にしてください。
  - 大音量で長時間続けて聴かないでください。
  - 音量を上げすぎないでください。
- ※ 長時間大きな音量で聴き続けると聴力に悪影響を与えます。

# お手入れとお知らせ

## お手入れについて



警告

お手入れの際は、必ず差し込みプラグをコンセントから抜く感電やけがの原因になります。

- カセットテープは本体から取り出してください。

本体の汚れは、やわらかい布でふき取ってください。細部の汚れは綿棒などを使用して取り除いてください。

カセットテープを再生・録音するヘッド部が汚れていると、音質が悪くなったり、音が途切れたり、録音ができなくなる原因になります。定期的に、市販のクリーニングテープを使って清掃することをお勧めします。

## 著作権について

**あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。**

- 放送やレコード、CDその他の録音物（ミュージックテープ、カラオケテープなど）の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
- 音楽作品を録音したテープを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、および営利（店のBGMなど）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
- 使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他の手続きについては、「日本音楽著作権協会」（JASRAC）にお尋ねください。（JASRAC本部：TEL.03-3481-2121）

# 修理を依頼される前に



## 警告

### 修理技術者以外の方は分解したり修理をしない

感電やけがの原因になります。修理はお買い上げの販売店、または当社サービスセンターにご相談ください。(24 ページ参照)

「故障かな?」と思ったときは、次の点をお調べください。

このようなとき	お調べいただくこと	なおしかた	参照ページ
音が出ない (電源が入らない)	乾電池が消耗していませんか?	新しい乾電池を正しく入れてください。	8
	電源コードが正しく接続されていますか?	電源コードを正しく接続してください。	7
	ヘッドホンを使用していますか?	ヘッドホンが接続されている間は、本体のスピーカーから音は出ません。	20
	乾電池を使用していて、電源コードが本体に接続していませんか?	乾電池を使用する場合は、電源コードを本体から抜いてください。	8
カセットテープが再生できない	ヘッドが汚れていませんか?	ヘッドをクリーニングしてください。	21
カセットテープに録音できない (録音ボタンが押せない)	カセットテープの録音消去防止のツメが折れていませんか?	ツメの部分にテープを貼ってご使用ください。	11
ラジオの雑音が多く うまく選局できない	アンテナの向きなどが悪くないですか?	FM ラジオを受信する場合は FM アンテナを伸ばして向きを調整してください。 AM ラジオを受信するときは本体の向きを調整してください。	10
	テレビやビデオデッキが近くにありませんか?	テレビやビデオデッキから離してご使用ください。	10
外部マイクで録音できない	マイク音量が最小になっていませんか?	マイク音量を調節してください。	18

修理サービスを依頼される場合は「保証とアフターサービス」をご覧ください。(→24 ページ参照)

## 主な仕様

### 【共有部】

品番	AY-W11
電源	AC100V 50-60Hz または DC 9V (単1形乾電池 ×6)
消費電力	12W
スピーカー	直径 8.0cm 4Ω ×2
出力	2.0W+2.0W
出力端子	φ3.5mm ステレオミニジャック
外形寸法	390 (W) ×170 (D) ×140 (H) mm
質量	2.2kg
付属品	電源コード

### 【ラジオ部】

受信周波数	FM : 76-108MHz, AM : 531-1602kHz
アンテナ	FM : ロッドアンテナ, AM : 内蔵バーアンテナ

### 【テープレコーダー部】

トラック方式	4トラック、2チャンネルステレオ
ヘッド	マグネット消去、交流バイアス記録
テープ	ノーマルテープ (TYPE 1)

# 保証とアフターサービス

- 1** この製品には保証書がついています。  
保証書は販売店にて所定事項を記入してお渡しいたしますので、内容をよくお読みのうえ大切に保管してください。
- 2** 保証期間はお買い上げの日から1年間です。  
保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
- 3** 保証期間後の修理は・・・  
販売店または当社サービスセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。ただし、補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後6年です。  
注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## この製品についてのご質問は

株式会社 **シー・シー・ピー** 八潮サービスセンター

〒340-0801 埼玉県八潮市八條1477 (名鉄運輸 八潮営業所内)

TEL.048-933-3388 / FAX.048-933-3372

営業日 月曜～金曜 (但し、祝日は除きます。)

お電話受付時間 9:30～17:00

## 愛情点検

## 長年ご使用のカセットレコーダーの点検を!



### このような症状はありませんか?

- 電源を入れても、ときどき運転しないことがある。
- コードを動かすと、通電したり、しなかったりする。
- 本体が変形したり、異常に熱い。
- こげくさい臭いがする。
- その他の異常、故障がある。

このような症状のときは、事故防止のため、すぐさまご使用を止めていただき、必ず販売店または当社サービスセンターに点検をご相談ください。



株式会社 **シー・シー・ピー**

本社：〒111-0043 東京都台東区駒形2-5-4

大阪支店：〒550-0002 大阪市西区江戸堀1-8-14 肥後橋SKビル4階

TEL. (03) 5806-3507(ダイヤルイン)

TEL. (06) 6444-2122 (代)